

## 雇われる能力、エンプロイアビリティとは

－キャリア形成支援を考える－

開倫塾

塾長 林 明夫

**Q：就職を希望する大学生にお話をしているそうですね。**

A：(林明夫：以下省略)栃木県経営者協会の会員企業や栃木県内の大学などで組織するキャリア形成支援協議会に依頼され、希望する企業や公共部門に就職するにはどうしたらよいかについて、10月4日に宇都宮市内で150名の大学生を対象に講演をさせていただきました。5月には宇都宮大学、7月には白鷗大学、11月24日には作新学院大学、1月には佐野短期大学と、地元の栃木県内の大学で仕事や就職の講演をさせて頂いております。11月10日には埼玉県入間市立上藤沢中学校、11月15日には埼玉県立草加南高校、1月27日には群馬県立太田工業高校でも講演。希望する仕事に就くためにはどうしたらよいかを、中学生や高校生、大学生や大学院生と一緒に考えています。

**Q：希望する仕事に就くためには、どうしたらよいと考えますか。**

A：どのような仕事に就くに際しても、雇われる能力(employability、エンプロイアビリティ)を身につけることが大切と考えます。一般社員の仕事に就きたければ一般社員としてのエンプロイアビリティを、役職者についても、例えば社長の仕事に就きたければ、トップマネジメントとしてのエンプロイアビリティを、中間管理職の仕事に就きたければ、ミドルマネジメントとしてのエンプロイアビリティを、現場の責任者としての仕事に就きたければ、ローアマネジメントとしてのエンプロイアビリティを、それぞれ身につけなければなりません。

**Q：どうしたらそれぞれの雇われる能力、エンプロイアビリティが身につきますか。**

A：自分はその仕事に就くのだという「自覚」をもって、必要な次の3つの実力を身につける以外にないと思います。

その第1は、仕事に必要な知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力。第2に、国際化がどんどん進むので多様な集団で交流する能力。第3に、自律的に活動できる能力、つまり規律ある考えに基づいて規律ある行動ができる能力。

この3つの実力を身につけるためには、仕事についての勉強の仕方、つまり学び方を学ぶ(Learning To Learn ラーニング・トゥ・ラーン)能力と、新聞を含む読書による思慮深さ、自分で考える力、批判的思考(critical thinking クリティカル・シンキング)能力も身につける必要があると思います。

1つ1つの仕事にはその社会的使命(ミッション)があります。使命という漢字はよく読むと「命を使う」ということも意味します。その仕事に関して命を使うに値することは何かを見極めることも大切かと考えます。親から与えられた貴重な自分の命を使って、何のためにその職業に就きたい

のか、その目的をはっきりと自覚することが最も大切かと思えます。

**Q：大変なことになってきましたね。どうすれば1つ1つの仕事の社会的使命がわかりますか。**

A：お客様の気持ち、立場に立って考えてみるのが大事です。その仕事のお客様とは誰かを考えた上で、お客様のどのような問題を解決するためにその仕事は存在を許されているのか、更に、お客様の問題を解決することにより社会にどのように役立っているのかを突き詰めて考えることも大事です。

**Q：そのようなことはどうすればわかりますか。**

A：会社のホームページで調べることも大事ですが、図書館に通い、英字新聞や英語の雑誌も含め何種類かの新聞や雑誌を毎日、丹念に読み込み、社会の大きな動きの中でその仕事を考えることをお勧めします。

少し大きめの会社には社史がありますので、必ず読むとよいと思います。もし、その業界や関連分野の方の伝記や自叙伝、例えば、日本経済新聞社の「私の履歴書」のようなものがあれば、図書館でじっくり読む。

その会社の製品やサービスが手に入るようなら、工夫して買い求めることも大事です。本社や事業所に出掛けてお話を聞いてくることも必ずすべきです。

**Q：エントリーシートやSPIの対策はどうしたらよいのですか。**

A：大学のキャリア支援担当の先生の指導を積極的に受けるべきです。SPIは、良い問題ばかりですが、慣れないと短時間で終了しません。普段から頭の体操と考えて、毎日、何分か練習するとよいでしょう。本音を言えば、私立中学入試の問題に酷似していますので、小学生のうちから親しんでおき、私立中学入試が終わった後もSPIを用いて勉強し続けるとよい就職準備になります。理系の大学院にもSPIの問題が出されるほどですので、やればやるほど頭が冴え渡り、大学院入試にも役立つのがSPIです。

**Q：その他どのようなお話をしたのですか。**

A：図書館の活用法、新聞の読み方、本の読み方、論文の書き方、面接試験の受け方、集団討論の仕方、内定が出てから入社式までの過ごし方、入社後3年間の過ごし方、休職(失業)期間中の過ごし方、定年退職後死ぬ前の日までの過ごし方、創業の仕方などをできるだけ具体的にお話させて頂きました。

あきらめたらおしまい。自分の未来は自分で切り開こうをここでも訴えました。

**Q：学習塾や予備校、私立学校の経営者の皆様にお伝えしたいことはありますか。**

A：今皆様のもとで学んでいる生徒も、学校を卒業するといずれはどこかに就職する方がほとんどかと思えます。その時に困らないように、今やるべき準備は最大限させることが我々の責任かと考えます。

例えば、本や新聞も読まないで就職できる方は珍しいと思いますが、就職試験直前になって本や新聞を読もうとしてもなかなか難しい。皆様のところで学んでいる間に、本や新聞を深く読む習慣

を身につけて頂ければと思います。

作文や論文試験や面接試験は、どのような仕事に就く際にも課せられます。中学校や高校への入学試験だけではなく、あと数年後の就職試験でも困らないように今から準備をお願いします。そんなことまで手が廻らないなどおっしゃらずに、できるだけキャリア形成支援をどうかよろしくをお願いします。

TOEIC や SPI などはどうせ就職試験で求められるのですから、中学校、高校からどんどん挑戦させるのも面白いし、よい勉強になります。英検はもちろんのこと、漢検や数検、言語力検定などもとても役に立ちます。就職状況は厳しいので、やれることは何でもやってあげたらと思います。

**Q：最後に一言どうぞ。**

A：国民の生活の上で最も基本となるのは、国家の安全保障です。新しい年を迎えるにあたってお勧めしたいのは、国分良成他編「日米中トライアングル－ 3 国協調への道－」岩波書店 2010 年 11 月 16 日刊です。過熱しているマスコミではあまり見られない意見ですが、安全保障面での 3 国の協調を論じている書です。小田健著「現代ロシアの深層－揺れ動く政治・経済・外交－」日本経済新聞出版会、2010 年 4 月 18 日刊もお勧めです。是非御一読を。

本年もよろしくお願い申し上げます。

－ 2010 年 11 月 22 日記す－

林明夫紹介

- ・開倫塾 塾長
- ・学校法人 有朋学園 東日本高等学院 理事長(福島市)
- ・宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授
- ・経済同友会 幹事、雇用・労働市場委員会総合外交戦略委員会委員
- ・栃木県経営者協議会 会員
- ・足利商工会議所 議員
- ・マニー株式会社(ジャスダック・J ストック 手術用縫合針製造) 顧問
- ・社会福祉法人 両崖福祉会 特別養護老人ホーム清明苑 理事